



職場のメンタルヘルスケア入門

編集代表：宮岡 等 発行：医学書院 定価：3,740円(税込10%)

本書は、宮岡等先生をはじめ、田中克俊先生、鎌田直樹先生の産業現場に詳しい精神科医と、精神看護・産業看護を専門

とする三木明子先生、産業保健をめぐる法律に詳しい弁護士の淀川亮先生の5名により編集された、職場のメンタルヘルス対策に関する最新の実践書である。一次予防～三次予防にわたるメンタルヘルス対策を、職場でどのように進めるとよいのかがQ&A方式で記載されており、実践者にとって自分の疑問に近いところから読み始めることが出来て、大変馴染みやすい構成となっている。

内容には、テレワークの浸透にともなう精神面の課題など、現代的な状況に沿った問題も取り上げられており、既存書には無い情報も得ることができる。また、後半には、発達障害や睡眠障害など、職場でもよく見られる精神疾病や障害などが分かりやすく解説されていて、現場で困ったときに正しい知識とともに対応方法を知りたいというニーズに応えられる書籍といえる。産業保健専門職である産業医・産業看護職・心理職などにとって必携の産業精神保健の実践的専門書であるとともに、企業の人事労務担当者などが職場のメンタルヘルス対策の概要を知る際の優れたテキストとして、幅広い活用を期待したい。

にしきど りこ
錦戸 典子
(東海大学医学部看護学科 客員教授)

情報スクランブル Scramble

厚生労働省から「皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアル 第1版」の公開

令和6年2月に「皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアル 第1版」が公開された。令和6年4月1日より、皮膚等障害化学物質等を製造又は取り扱う場合は、不浸透性の保護具の使用が義務づけられ、併せて皮膚若しくは眼に障害を与えるおそれ又は皮膚から吸収され、若しくは皮膚に浸入して、健康障害を生ずるおそれのないことが明らかでない化学物質等を製造し、又は取り扱う場合は、適切な保護具の使用が努力義務となった。本マニュアルは、主に保護具着用管理責任者の皮膚障害等防止用保護具の適切な選択・使用・保守管理の実施を推進

するために開発された。

なお、本マニュアルの構成は、第1章 労働安全衛生法関係政省令改正（令和4年改正）の概要、第2章 皮膚障害等防止用保護具に関する基礎知識、第3章 化学防護手袋の選定、第4章 化学防護手袋の使用、第5章 化学防護手袋の保守・管理、参考資料1 皮膚等障害化学物質（労働安全衛生規則第594条の2（令和6年4月1日施行））及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質リスト、参考資料2 耐透過性能一覧表となっている。

「産業保健21」117号アンケートのお願い

「産業保健21」では、産業保健活動の実務に資する具体的、実践的な情報を提供しています。今後、更なる充実を図るため、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

●問い合わせ：
(独)労働者健康安全機構 勤労者医療・産業保健部産業保健課

※このアンケートでご記入いただいた内容は『産業保健21』制作の参考にさせていただきます。

下記のいずれかの方法でご回答いただきますようお願いいたします。

QRコード：右のQRコードを読み込み、表示された登録ページからご回答ください。



ホームページ：下記ホームページのアンケートページからご回答ください。

<https://www.johas.go.jp/sangyouhoken/johoteikyo/tabid/2442/frmid/266/Default.aspx>